

Ⅳ. 地域経営の基本方針

1. 行財政改革による効率的な地域経営

まちづくりの基本理念を着実に実現し、満足度の高いサービスを提供するためには、まず大胆な行財政改革を行う必要があります。

本町においては、第4次振興計画の計画期間中、第1次、第2次の行政改革大綱を策定し、情報公開、行政評価*、ISO9001*、人事評価等従来の行政構造を抜本的に改革するためのシステム構築に取り組んできました。さらに、平成15年度には、それら行政構造改革システムを有機的に運用するために高根沢町政策マネジメントシステムを確立し、総合窓口の設置、行政情報提供システムの構築等住民サービス向上施策と併せて、積極的な行財政改革と質の高い住民サービスの実現に努めてきました。

これからの地域経営にあたっては、固定費の削減、業務の効率化、財政基盤の強化といった課題解決の手段として高根沢町政策マネジメントシステムをこれまで以上に有効に活用するとともに、国の示す集中改革プラン*の実施を含めた効率的な地域経営に向けた取組みを進めます。

（１）地域経営の固定費削減

町民へのサービスに必要な財源をできるだけ多く確保するため、地域経営の固定費を削減します。これから団塊世代*の職員が退職時期を迎えることから、退職者数に対して採用数を限定して職員数を削減するとともに、職員給与などの見直しを行い、歳出の約2割を占める人件費の削減を図ります。

また、各種公共施設の管理運営は、指定管理者制度*を積極的に活用してコスト削減に努め、地域経営の固定費を削減します。

（２）連携による業務効率化

限られた財源、職員、施設などの経営資源を有効に活用するため、効率的な組織体制を構築していくとともに、地域、周辺自治体、外部専門機関などと業務内容に応じて柔軟に連携を組み、業務の効率化を図ります。

地域の力で解決すべきことは、町民、ボランティア団体、NPO法人*との連携の仕組みを整え、きめ細かいサービスの提供を行います。また、周辺自治体等との連携による定型的業務の共同処理や、大学や研究機関との連携による問題解決体制の構築を検討し、業務の効率的な遂行を実現します。

（３）財政基盤の強化

健全な財政を将来にわたり維持していくため、財源の確保と財政基盤の強化に取り組めます。税の徴収対策、税負担や使用料・手数料の見直しなどを通して、増収に努めるとともに、公債費負担比率*や起債制限比率*等を利用した長期的債務の管理などを通して適正な財政管理を行い、財政の健全性確保に努めます。

2. 町民との協働による地域経営

（１）町民の意向が反映する仕組みづくり

中央集権型の行政システムから、自治体の主体性を重視した行政システムへと移行しつつあり、自らの地域のことは自らの責任で自らが決める時代になりつつあります。町民への情報提供、町民の意向把握を充実させるとともに、町民がまちの計画づくりを協議する機会を増やし、町民の意向がまちづくりに反映する仕組みを整えて、町民主体の地域経営を実現します。

（２）町民と行政の協働の仕組みづくり

町内に住む人々や、町内を活動基盤としている団体は、地域の実態に応じてきめ細かい活動を展開することができます。町民、ボランティア団体、NPO法人*等が、それぞれの持ち味を活かし、行政とともにまちをつくり運営することが、サービスの向上、地域コミュニティの充実、業務の効率化につながる可能性があります。町民や地域団体と行政との役割分担を適切に調整し、相互に協力し合う協働経営の仕組みを築きます。

3. 資源を生かす地域経営

(1) 利便性を生かした地域価値の向上

本町の中心市街地である宝積寺地域は、宝積寺駅を中心に拡大してきました。J R宇都宮線と国道4号が縦断する宝積寺地域は、宇都宮までの通勤通学距離が短く、現在でも若い世代が転入して本町の人口を増加させています。我が国全体の人口が減少期を迎える中で、転入者を集めている利便性の良さや暮らしやすさに注目し、磨きをかけてまちづくりに積極的に生かしていきます。中心市街地の居住環境、商業機能の魅力を向上させて地域価値を高め、本町全体の活性化につなげていきます。

(2) 地域ブランドの育成

米、野菜、果樹などを生産している農業は、本町の産業の一翼を担うとともに、生態系を支え、自然に恵まれた生活環境を提供してきました。食物を供給して人々の生命や健康を支えている農業は、地域固有の文化を育むとともに、最近では観光や体験学習などの場所としても活用され、幅広い役割を果たしています。

また、本町では家庭から出る生ごみから堆肥をつくり、その堆肥を使って作られた農産物を学校給食でこどもたちへ、直売所で各家庭へという循環型農業*の仕組みが、町民のみなさんの努力によって確立されています。

こうした農業が備える潜在的な可能性をまちづくりに生かすとともに、食の大切さについても見直すことによって、地域の個性を確立していきます。本町の生活を支えてきた農業と「食」の価値を正しく認識して地域の個性を見極め、さらに町全体の地域ブランドに育てることによって、町の更なる成長を目指します。